

# 精神科

患者数実績		令和3年度	令和4年度	令和5年度
のべ入院患者数	年間	12,053	12,518	13,512
	1日平均	33	34	37
外来患者数	年間	15,862	17,810	20,207
	1日平均	65	73	83
退院患者数		163	172	226
<b>内訳</b>				
直接受診患者数		2,166	1,770	2,021
院内他科依頼患者数		335	353	362
他院依頼患者数		176	295	218
<b>直接受診患者の疾患別割合</b>				
F0	症状性を含む器質性精神障害	238	232	220
F1	精神作用物質使用による精神行動の障害	41	38	47
F2	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	566	557	597
F3	気分（感情）障害	536	599	725
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	169	180	240
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	6	4	8
F6	成人の人格および行動の障害	1	1	3
F7	精神遅滞	5	8	13
F8	心理的発達の障害	1	4	13
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	5	6	13
G4	てんかん	92	121	117
	その他	16	21	25
<b>院内他科依頼患者の疾患別割合</b>				
F0	症状性を含む器質性精神障害	98	140	154
F1	精神作用物質使用による精神行動の障害	8	8	11
F2	統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	44	28	33
F3	気分（感情）障害	105	92	70
F4	神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	29	50	55
F5	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	2	3	1
F6	成人の人格および行動の障害	2	1	1
F7	精神遅滞	2	7	6
F8	心理的発達の障害	-	6	4
F9	小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	1	5	7
G4	てんかん	2	4	1
	その他	8	16	19

他院依頼患者の疾患別割合	令和3年度	令和4年度	令和5年度
F0 症状性を含む器質性精神障害	38	29	19
F1 精神作用物質使用による精神行動の障害	1	2	4
F2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	31	35	39
F3 気分（感情）障害	72	127	102
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	14	69	42
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	-	2	1
F6 成人の人格および行動の障害	-	0	0
F7 精神遅滞	-	6	1
F8 心理的発達の障害	1	7	3
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	-	3	2
G4 てんかん	-	6	1
その他	1	9	4
退院患者の疾患別割合（総数 人）			
F0 症状性を含む器質性精神障害	15	37	17
F1 精神作用物質使用による精神行動の障害	3	9	11
F2 統合失調症、統合失調型障害および妄想性障害	46	42	50
F3 気分（感情）障害	34	39	57
F4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体化障害	20	15	39
F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	2	1	2
F6 成人の人格および行動の障害	2	2	5
F7 精神遅滞	14	12	12
F8 心理的発達の障害	1	5	8
F9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害および特定不能の精神障害	1	2	6
G4 てんかん	4	3	2
その他	21	5	17

令和4年度から医師が1名増員し、4名体制となったために患者数全体が増えています。ICDコードは、複数病名がある際には数字の少ないコードを優先しています。

（文責／精神科 主任部長 古瀬 研吾）